

阿賀野川水系流域治水プロジェクト

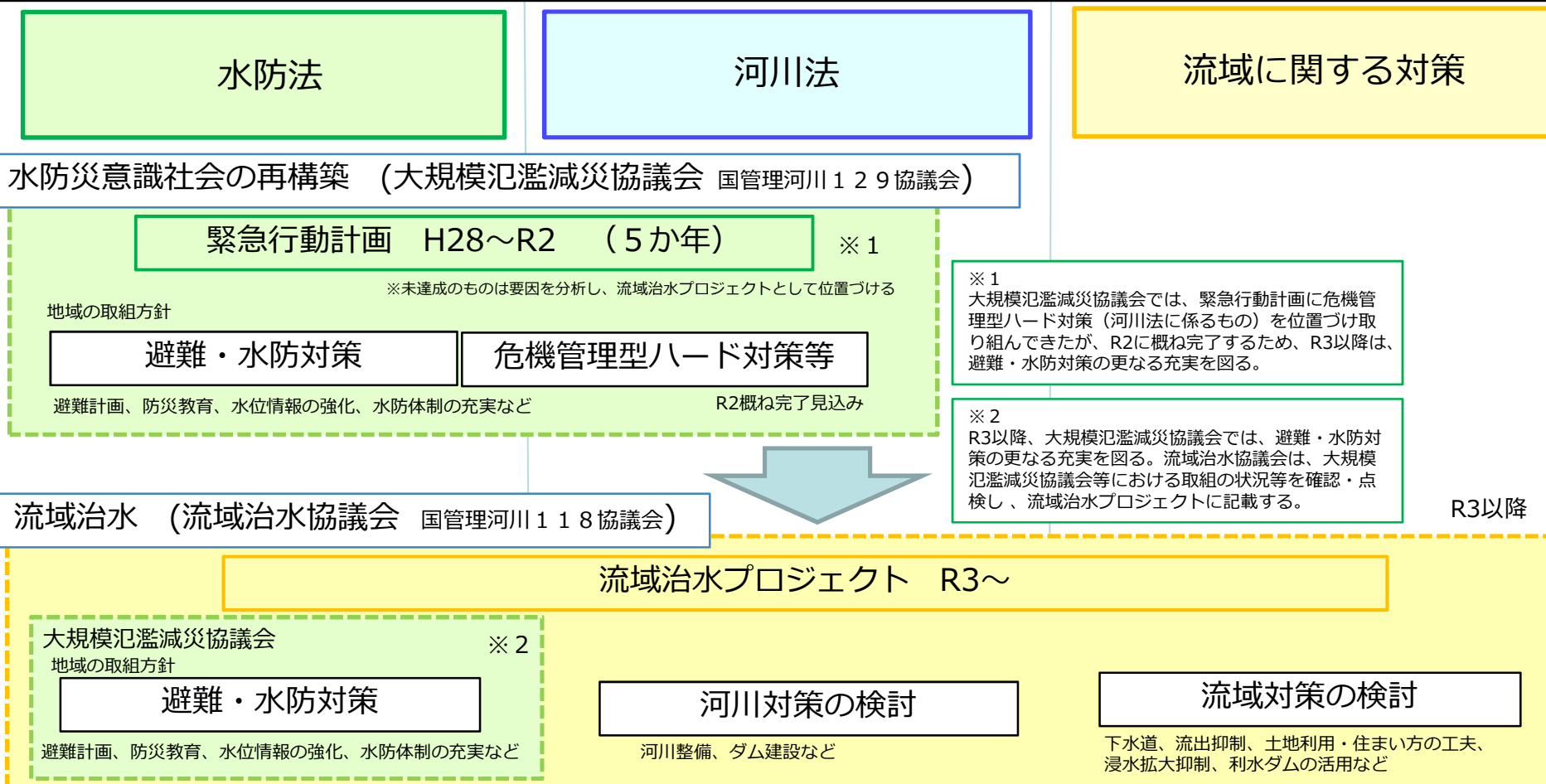
R5.3.13

第9回 阿賀野川大規模氾濫に関する減災対策協議会
第4回 阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議

1) 減災対策協議会および流域治水会議の進め方

「緊急行動計画」の今後の展開について

- 水防災意識社会の実現に向け、令和2年度を目標として、円滑かつ迅速な避難・被害軽減のための取り組み等について「緊急行動計画」として取りまとめ着実に推進してきた。このうち、危機管理型ハード対策については、令和2年度までにおおむね完了の見込みとなったところ。
- 緊急行動計画に含まれていた避難や水防対策については、引き続き、大規模氾濫減災協議会において「地域の取組方針」を作成するとともに、これを各河川で進められている「流域治水プロジェクト」に位置付けることで、あらゆる関係者との密接な連携体制のもと、防災・減災の取組を継続的に推進していく。



阿賀野川水系流域治水プロジェクト

阿賀野川水系（阿賀野川） 流域治水会議 （R2年9月設置）

【目的】あらゆる関係者が協働して、「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行う

＜構成機関＞
あらゆる関係者（国・県・市町村・企業・住民等）※減災対策協議会構成機関を含む

阿賀野川大規模氾濫に関する減災対策協議会 （H28年4月設置）

【目的】「水防災意識社会」を再構築するため、洪水氾濫による被害を軽減するためのハード・ソフト対策を総合的かつ一体的に推進する

水防法第15条の9
＜構成機関＞
河川管理者、氾濫域市町村、利水ダム管理者他

連携
協働

阿賀野川水系 ダム洪水調節 機能協議会 （R3年9月設置）

【目的】緊急時に既存ダムを最大限活用するため、洪水調節機能向上の取組の継続・推進を図る

河川法第51の2
＜構成機関＞
河川管理者、
利水ダム管理者、
治水ダム管理者、
ダムユーザー

連携・協働

阿賀野川上流域（阿賀川）

連携・協働

阿賀野川水防連絡会

「河川管理の強化について」S57河川局治水課長通達
＜構成機関＞河川管理者、水防管理団体

2) 流域治水プロジェクトの指標更新

阿賀野川水系流域治水プロジェクトの更新

本資料の数値は3月10日時点の値です。
今後、修正となる可能性があります。

■令和4年3月31日に公表した「阿賀野川水系流域治水プロジェクト」について、全国一斉に**指標の時点更新**を行います。

指標		現況			変更（案）		
		数値		時点	数値		時点
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策							
指標1	戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）	阿賀野川	88.3 %	概ね5か年後	阿賀野川	88.3 %	概ね5か年後
		阿賀川	100 %		阿賀川	100 %	
指標2	農地・農業用施設の活用		6 市町村	令和3年度末時点		6 市町村	令和4年度末時点
指標3	流出抑制対策の実施		15 施設	令和2年度実施分		31 施設	令和3年度実施分
指標4	山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策【治山】		23 箇所	令和3年度実施分		25 箇所	令和4年度実施分
指標5	山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策【砂防】		1 施設	令和3年度完成分		0 施設	令和4年度完成分
					10 施設	施工中	
被害対象を減少させるための対策							
指標6	立地適正化計画における防災指針の作成		1 市町村	令和3年12月末時点		4 市町村	令和4年12月末時点
被害の軽減・早期復旧・復興のための対策							
指標7	避難のためのハザード情報の整備【洪水】		13 河川	令和3年12月末時点		18 河川	令和4年9月末時点 ※一部、令和4年3月末時点
指標8	避難のためのハザード情報の整備【内水】		1 団体	令和3年11月末時点		0 団体	令和4年9月末時点
指標9	高齢者等避難の実効性の確保【避難確保計画】	洪水	1386 施設	令和3年9月末時点	洪水	1693 施設	令和4年9月末時点
		土砂	56 施設		土砂	74 施設	
指標10	高齢者等避難の実効性の確保【個別避難計画】		集計中	令和4年1月1日時点		16 市町村	令和4年1月1日時点

阿賀野川水系流域治水プロジェクトの更新

本資料の数値は3月10日時点の値です。
今後、修正となる可能性があります。

■令和4年3月31日に公表した「阿賀野川水系流域治水プロジェクト」について、全国一斉に**指標の時点更新**を行います。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

指標1:戦後最大洪水等に対応した河川の整備(見込)

一級河川における戦後最大洪水等に対応するための築堤等の河川改修を実施する。
【戦後最大洪水等に対応した河川(国直轄区間)の整備率(概ね5か年後)】

[更新内容]

更新なし

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備 (見込)



整備率

阿賀野川 : 88.3%

阿賀川 : 100%

(概ね5か年後)

現況版



更新なし

阿賀野川水系流域治水プロジェクトの更新

本資料の数値は3月10日時点の値です。
今後、修正となる可能性があります。

■令和4年3月31日に公表した「阿賀野川水系流域治水プロジェクト」について、全国一斉に**指標の時点更新**を行います。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

指標2: 農地・農業用施設の活用

農地・農業用施設を活用し、雨水や氾濫水を貯留し、又は事前に排水し、被害軽減を図る。

【農地・農業用施設の活用に取り組んでいる市町村数】

〔更新内容〕

令和3年度末時点の数値を、令和4年度末時点に更新。

農地・農業用施設の活用



6市町村

(令和3年度末時点)

現況版



農地・農業用施設の活用



6市町村

(令和4年度末時点)

更新版

阿賀野川水系流域治水プロジェクトの更新

本資料の数値は3月10日時点の値です。
今後、修正となる可能性があります。

■令和4年3月31日に公表した「阿賀野川水系流域治水プロジェクト」について、全国一斉に**指標の時点更新**を行います。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

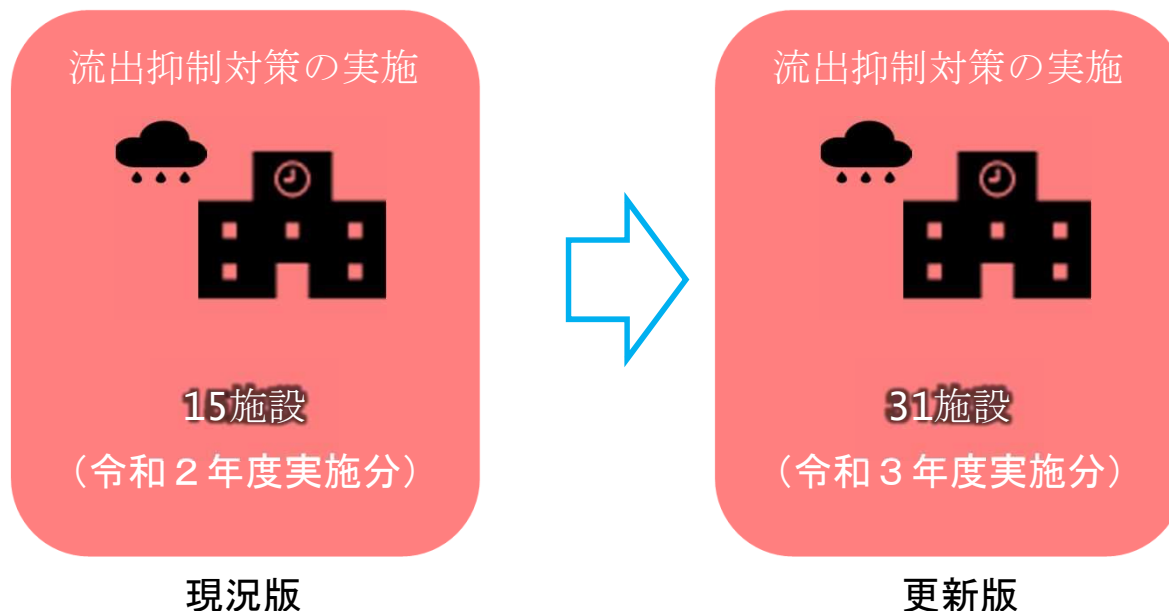
指標3: 流出抑制対策の実施

校庭貯留や地下貯留などの雨水貯留浸透施設の整備等により、流出抑制対策に取り組む。

【雨水貯留浸透施設等の整備数】

〔更新内容〕

令和2年度実施分の数値を、令和3年度実施分に更新。



阿賀野川水系流域治水プロジェクトの更新

本資料の数値は3月10日時点の値です。
今後、修正となる可能性があります。

■令和4年3月31日に公表した「阿賀野川水系流域治水プロジェクト」について、全国一斉に**指標の時点更新**を行います。

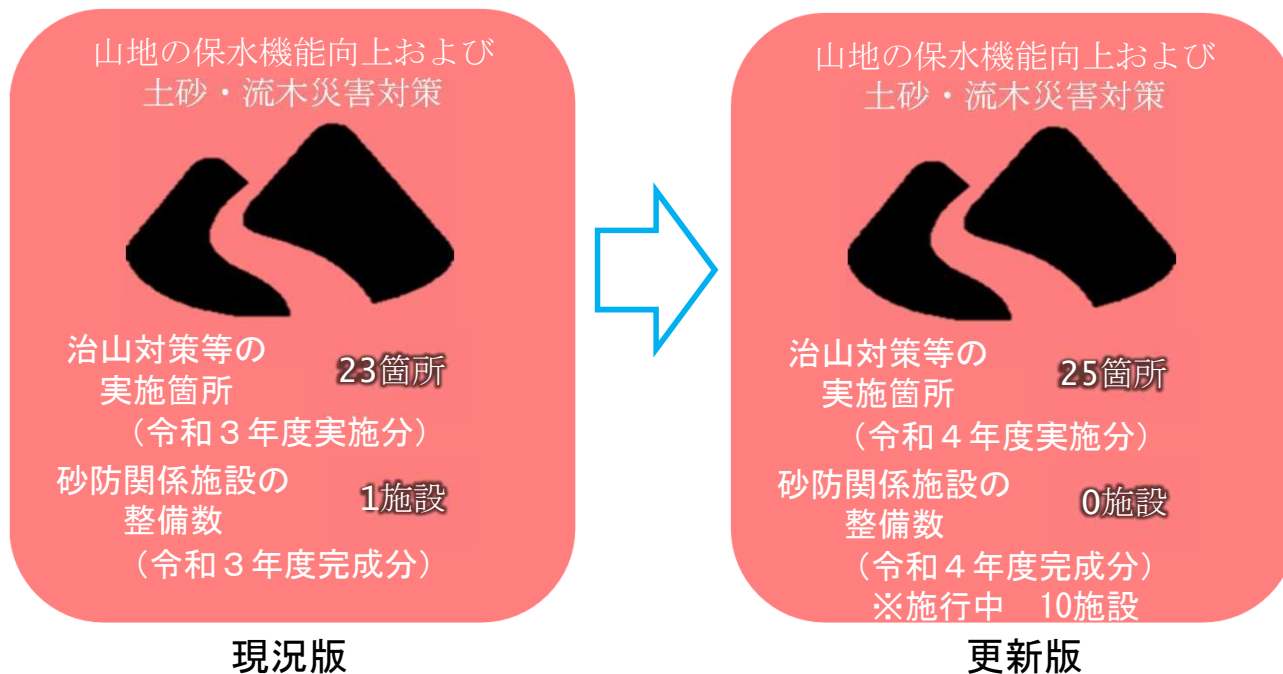
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

指標4、5:山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策

治山対策・森林整備の実施により、森林が有する浸透・保水機能等の維持・向上を図る。
土砂・流木災害対策の実施のため、砂防堰堤や地すべり防止施設等の砂防施設整備を実施する。
【治山対策・森林整備の実施箇所数(国直轄事業及び補助事業に限る)】
【基礎的な公共インフラ施設等を保全する砂防関係施設の整備数(整備が完了した施設を集計)】

〔更新内容〕

【治山】令和3年度実施分の数値を、令和4年度実施分に更新。
【砂防】令和3年度完成分の数値を、令和4年度完成分に更新。また、施工中の施設数を追加。



阿賀野川水系流域治水プロジェクトの更新

本資料の数値は3月10日時点の値です。
今後、修正となる可能性があります。

■令和4年3月31日に公表した「阿賀野川水系流域治水プロジェクト」について、全国一斉に**指標の時点更新**を行います。

被害対象を減少させるための対策

指標6: 立地適正化計画における防災指針の作成

水災害リスクを軽減させるため、よりリスクの低い区域への居住、都市機能の誘導や住まい方の工夫等による居住地の安全性強化に取り組む。

【立地適正化計画における防災指針の作成済みの市町村数】

〔更新内容〕

令和3年12月末時点の数値を、令和4年12月末時点に更新。

立地適正化計画における
防災指針の作成



1市町村

(令和3年12月末時点)

現況版



立地適正化計画における
防災指針の作成



4市町村

(令和4年12月末時点)

更新版

阿賀野川水系流域治水プロジェクトの更新

本資料の数値は3月10日時点の値です。
今後、修正となる可能性があります。

■令和4年3月31日に公表した「阿賀野川水系流域治水プロジェクト」について、全国一斉に**指標の時点更新**を行います。

被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

指標7、8: 避難のためのハザード情報の整備

水災害リスク情報の空白域を解消するため、中小河川等の浸水想定区域の指定を促進する。

【中小河川等において洪水浸水想定区域を指定した河川数】

【最大クラスの内水に対応した浸水想定区域図を作成した団体数】

〔更新内容〕

【洪水】令和3年12月末時点の数値を、令和4年9月末時点に更新（一部、令和4年3月末時点）。

【内水】令和3年11月末時点の数値を、令和4年9月末時点に更新。

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 13河川

(令和3年12月末時点)

内水浸水想定区域 1団体

(令和3年11月末時点)

現況版



避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 18河川

(令和4年9月末時点)

※一部、令和4年3月末時点

内水浸水想定区域 0団体

(令和4年9月末時点)

更新版

阿賀野川水系流域治水プロジェクトの更新

本資料の数値は3月10日時点の値です。
今後、修正となる可能性があります。

■令和4年3月31日に公表した「阿賀野川水系流域治水プロジェクト」について、全国一斉に**指標の時点更新**を行います。

被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

指標9、10: 高齢者等避難の実効性の確保

要配慮者利用施設の避難確保計画の作成を促進するなど、市町村と連携して被害の軽減を図る。
避難行動要支援者を対象とした個別避難計画の作成を促進するなど、高齢者の避難の実効性の確保を図る。

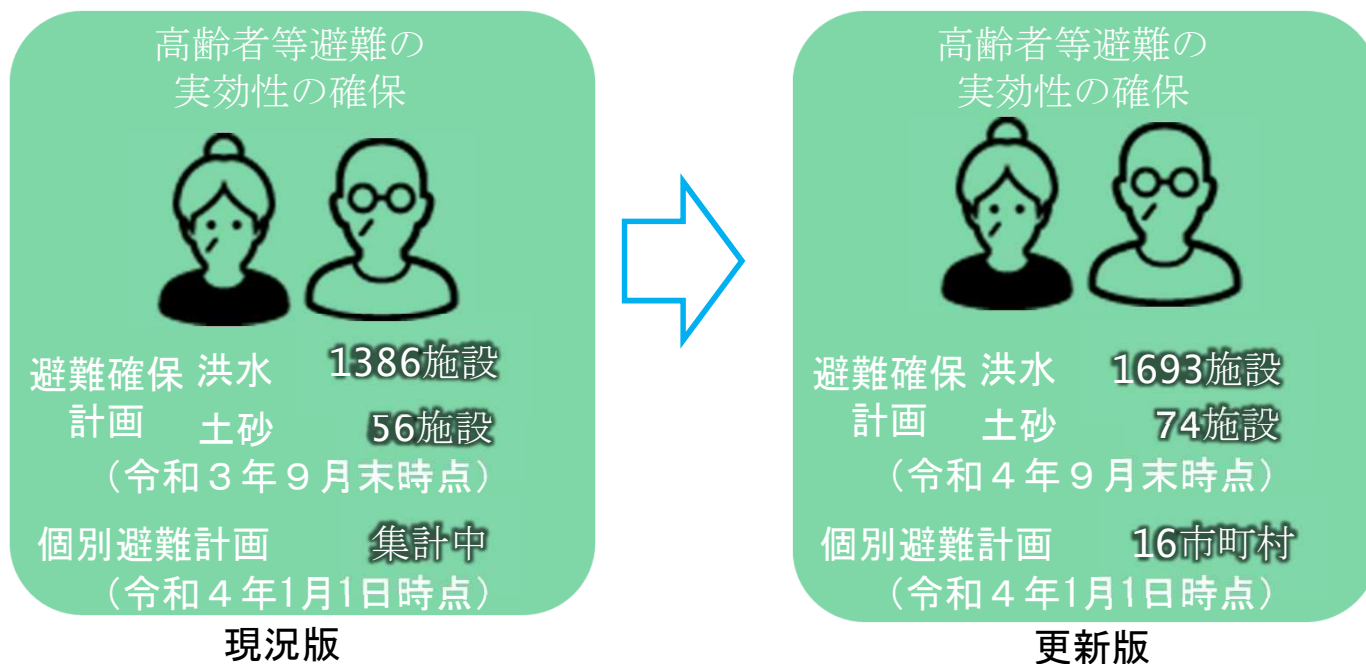
【避難確保計画を作成済みの施設数】

【個別避難計画を作成(全部又は一部)済みの市町村数】

〔更新内容〕

【避難確保計画】令和3年9月末時点の数値を、令和4年9月末時点に更新。

【個別避難計画】令和4年1月1日時点の数値(集計中)を、令和4年1月1日時点に更新。



阿賀野川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～会津から越後まで流域一体となった被害軽減に向けた治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、阿賀野川水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取組を実施していくことで、国管理区間の阿賀川においては戦後最大の昭和22年9月洪水と同規模の洪水を、国管理区間の阿賀野川においては戦後最大の平成23年7月新潟・福島豪雨と同規模の洪水をそれぞれ安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、浚渫、河道拡幅、堤防整備、堤防強化、水衝部対策、横断工作物新築・改築、護岸整備、宅地嵩上げ等
- ・砂防関係施設の整備
- ・森林整備、治山対策、林道整備、溪間工（治山ダム）、山腹工整備
- ・計画目標1/10雨水貯留施設、雨水管、雨水ポンプ場整備、ポンプ施設増強
- ・開発行為に伴う貯留施設整備、雨水貯留・学校グラウンド等浸透施設の整備による流出抑制、適切な管理
- ・学校グラウンド貯留浸透施設の適切な管理
- ・雨水浸透ます、貯留タンク設置への助成金交付事業
- ・既存樋門ゲートの無動力化
- ・田んぼダム取組支援、既整備地区での農地関係者連携し適切な管理、土地区画整理事業における水路の整備
- ・ため池堰堤耐震対策
- ・防災重点農業用ため池の整備
- ・既存ダム等32ダムにおける事前放流等の実施、体制構築 ※参考資料参照（関係者：国、福島県、新潟県、東北電力(株)、電源開発(株)、土地改良区など）

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・立地適正化計画の策定及び見直し等検討
- ・民間等の新規開発事業における雨水流出抑制施設の検討
- ・多段階な浸水リスク情報の充実

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラ、量水標等の整備及び情報提供
- ・浸水想定区域、ハザードマップの作成・公表
- ・行政区へのハザードマップ説明、マイ・タイムラインの普及啓発・作成支援
- ・親子防災講座、自治会防災塾、小中学校出前講座、まるごとまちごとハザードマップなどによる住民・教育機関への防災啓発
- ・土砂災害警戒区域等の周知、土砂災害警戒情報の精度向上
- ・小中学校における水害・防災教育の実施
- ・要配慮者施設への避難確保計画作成支援
- ・自主防災組織の充実
- ・国・県・市が連携した水防訓練の取組、危険箇所合同巡視
- ・内水被害想定箇所での排水ポンプ車設置訓練
- ・内水常襲地への排水ポンプ整備、設置訓練
- ・防災FM、防災メールの整備、SNSによる情報発信強化
- ・自治体独自の水災害情報共有システム構築・活用
- ・水害リスクの高い区間の監視体制強化
- ・水害リスク情報空白域の解消
- ・通信事業者への映像情報提供

凡例
 浸水範囲(戦後最大規模に対する氾濫解析)
 大臣管理区間

※本図の浸水範囲は大臣管理区間における氾濫によって生じる浸水範囲を示しており、大臣管理区間外の氾濫による浸水範囲は含まれていません。
 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

■ グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

阿賀野川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～会津から越後まで流域一体となった被害軽減に向けた治水対策の推進～

●グリーンインフラの取り組み 『大河が織りなす多様な自然環境の保全・再生と、豊かな自然環境を活かした地域活性化』

○阿賀川では、礫河原が形成され、礫河原の水域にはイトヨ、陸域にはカワラハハコなど河原環境に依存する植物が生息しており、阿賀野川では、河口部の広大な水面と、レキ河原、ワンド等が存在しており、砂丘により生まれた越後平野には、ラムサール条約湿地に認定された佐潟や瓢湖をはじめ多くの潟湖が存在している。

○大河が織りなす多様な自然環境を保全・再生し、豊かな自然環境を活かした地域活性化を目指し、今後概ね20年間でレキ河原の再生や大型水鳥のねぐらや餌場環境の整備を行うなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



●自然環境の保全・復元などの自然再生

- ・阿賀野川の原風景であるレキ河原の再生
- ・魚類のゆりかごとなるワンドの再生・維持
- ・健全な森林の育成・保全

●生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成

- ・ハクチョウのねぐら、サギ類の採餌場となる浅場の創出
- ・餌場環境となる堤内地との連続性の確保
- ・生態系ネットワークと連携した観光振興

●治水対策における多自然川づくり

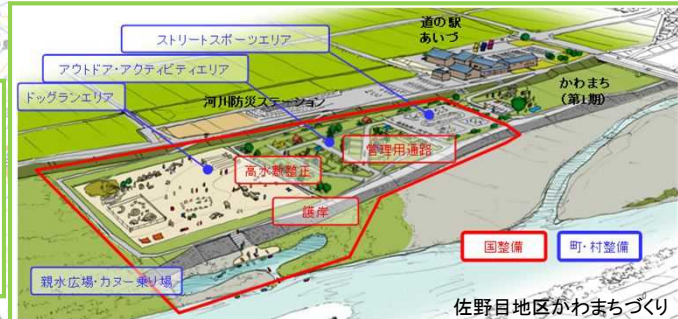
- ・多様な生物の生育環境の保全・創出（イトヨ生息場所の保全、重要種の保全、海浜植物の保全）
- ・河川景観の保全
- ・既設落差工の魚道整備

●魅力ある水辺空間・賑わいの創出

- ・かわまちづくによる水辺の賑わい空間創出
- ・親水ポケットパークの整備
- ・景観に配慮した水辺空間の整備

●自然環境が有する多様な機能活用の取り組み

- ・子供を対象とした河川環境学習
- ・地域住民と協働した水生生物調査
- ・河川協力団体による啓蒙活動
- ・地元団体と協働した河川美化活動
- ・水辺プラザ周辺の利用促進
- ・森林・林業教育の実施



凡 例

大臣管理区間	↔
治水メニュー	↔
グリーンインフラメニュー	■
国整備	■
町・村整備	■

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

阿賀野川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～会津から越後まで流域一体となった被害軽減に向けた治水対策の推進～

- 阿賀野川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する
 - 【短期】 氾濫被害が甚大となる盆地部、低平地での重大災害を防ぐため、堤防整備や河道掘削を実施。
山間部から低平地を抱える流域の水災害リスクの特性を踏まえ、ハザードマップの整備やマイタイムライン・避難確保計画作成支援、防災講座による啓発活動、水位計・カメラの設置、防災関連通信整備・運用による避難体制強化を実施。
 - 【中期】 扇頂部での流下能力不足解消、低平地での氾濫対策を図るため、横断工作物の改築や河道掘削を実施。
 - 【中長期】 河川での堤防強化、山地部での砂防、治山・森林整備、盆地部・低平地での河川・下水道事業を実施し、流域全体の安全度向上を図る。

【ロードマップ】 ※スケジュールについては、今後事業進捗によって変更となる場合があります。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	長期
氾濫をできるだけ防ぎ、減らすための対策	堤防整備、堤防強化、河道掘削、宅地嵩上げ	阿賀野川河川事務所、阿賀野川河川事務所、福島県、新潟県	[進捗バー]		
	橋梁改築・逆流防止機能設置	阿賀野川河川事務所	[進捗バー]		
	横断工作物改築	阿賀野川河川事務所	[進捗バー]		
	阿賀野川全域における水衝部対策	阿賀野川河川事務所	[進捗バー]		
	砂防関係施設の整備	阿賀野川河川事務所、福島県、新潟県	[進捗バー]		
	森林整備・治山対策	会津森林管理署、下越森林管理署、福島県、新潟県、森林整備センター等	[進捗バー]		
	雨水貯留管・ポンプ場の整備	新潟市等	[進捗バー]		
	雨水貯留・浸透施設を備えた学校施設整備	会津若松市等	[進捗バー]		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の策定及び見直し等検討	新潟市、五泉市、阿賀野市等	[進捗バー]		
	民間等の新規開発事業における雨水流出抑制施設の検討	会津若松市等	[進捗バー]		
	多段的な浸水リスク情報の充実	阿賀野川河川事務所、阿賀野川河川事務所	[進捗バー]		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計・簡易カメラによる水災害リスク情報の提供、浸水想定区域の作成・公表、水害リスク空白域の解消	阿賀野川河川事務所、阿賀野川河川事務所、福島県、新潟県	[進捗バー]		
	ハザードマップの作成・公表、避難確保計画、マイタイムラインの作成支援、防災講座等	会津若松市、喜多方市、新潟市、阿賀野市、五泉市、新発田市等	[進捗バー]		
	防災行政無線、防災ラジオ、エリアメール、あんしんメール等整備・配信	磐梯町、新潟市、阿賀野市、五泉市、新発田市、阿賀町等	[進捗バー]		
グリーンインフラの取組	自然環境の保全・復元などの自然再生	阿賀野川河川事務所、新潟県	[進捗バー] 阿賀野川自然再生事業(国)		
	越後平野の生態系ネットワークの形成	阿賀野川河川事務所	[進捗バー]		
	治水対策における多自然川づくり	阿賀野川河川事務所、阿賀野川河川事務所、新潟県、福島県	[進捗バー]		
	魅力ある水辺空間・賑わいの創出	阿賀野川河川事務所、福島県	[進捗バー]		
	自然環境が有する多様な機能活用の取り組み	阿賀野川河川事務所、阿賀野川河川事務所、新潟県	[進捗バー]		



【事業規模】

■河川対策

全体事業費 約 1,275 億円
対策内容 堤防整備、河道掘削、堤防強化、護岸整備、宅地嵩上げ 等

■砂防対策

全体事業費 約 394 億円※1
※1: 飯豊山系直轄砂防事業及び滝坂地区直轄地すべり対策事業として

■下水道対策

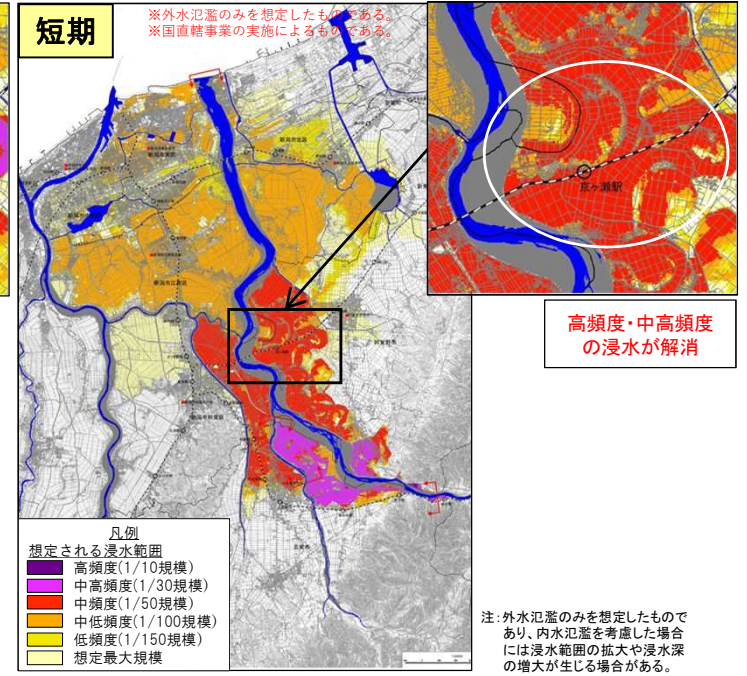
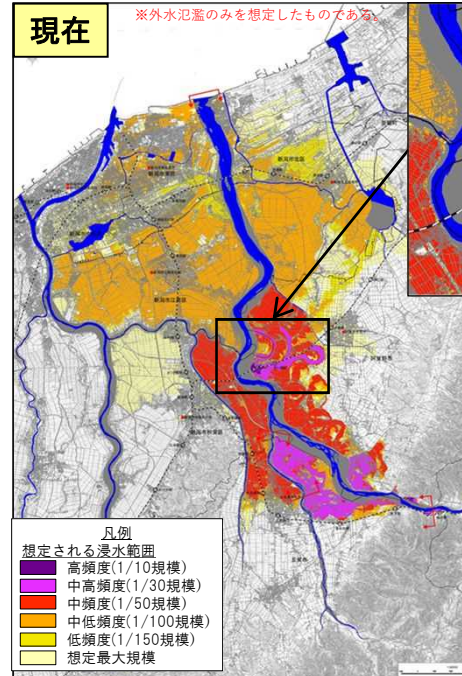
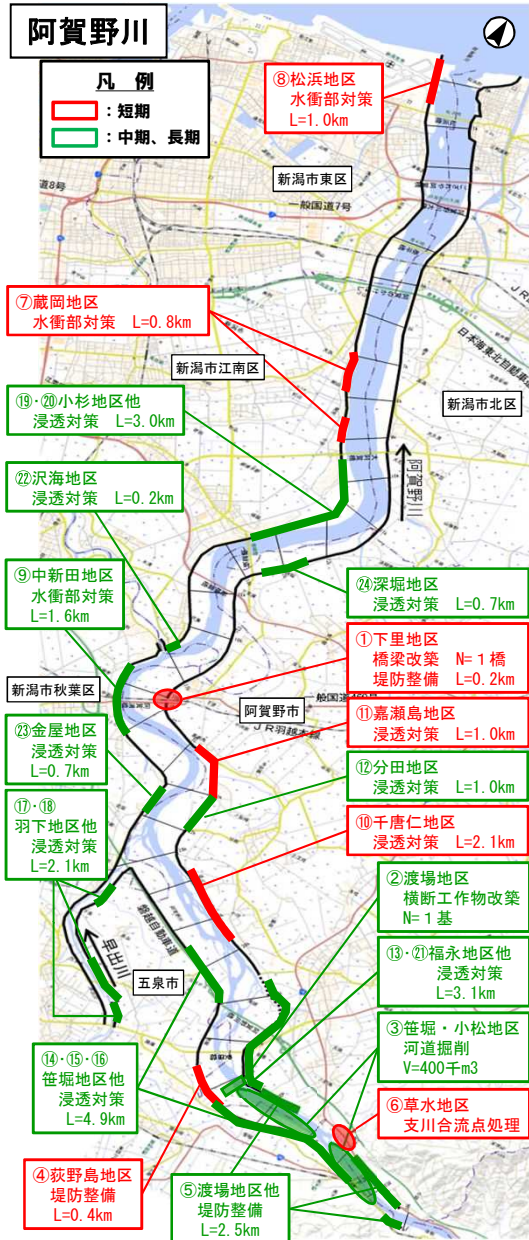
全体事業費 約 121 億円
対策内容 雨水貯留施設の整備

阿賀野川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～会津から越後まで流域一体となった被害軽減に向けた治水対策の推進～

阿賀野川では、羽越本線洪水防止連携整備及び藤戸川合流点処理の完了により、中流域では戦後最大(平成23年新潟豪雨)と同規模を安全に流下させることが可能

短期整備(5か年加速化対策)効果：河川整備率 約87.7%→約88.3%



注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。

注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。

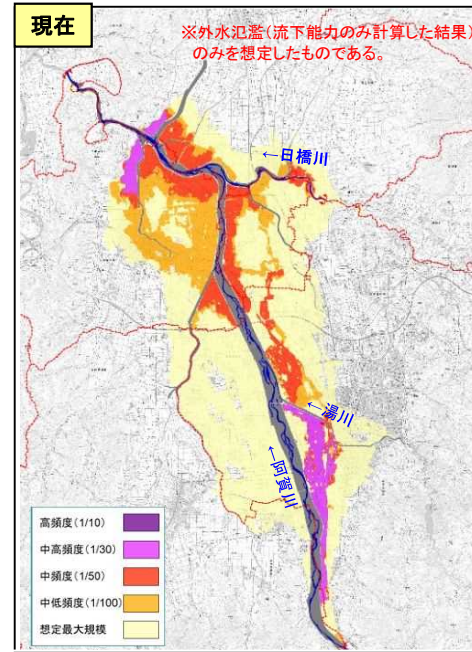
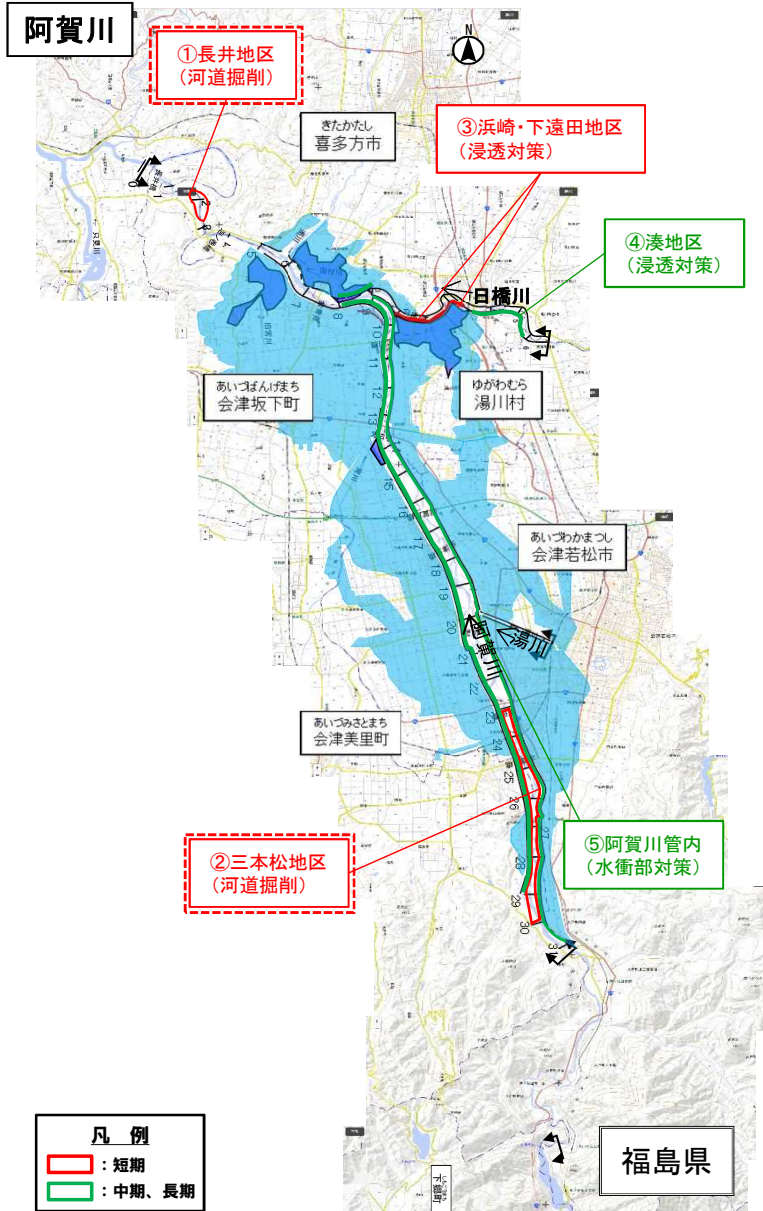
区分	区間	対策内容	市町村	地区名	工程			
					短期(R3→R7)	中期(R8→R17)	長期(R18→R27)	
氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策	渡場床固下流	堤防整備	阿賀野市	①下里地区	100%	100%		
		横断工作物改築	阿賀野市	②渡場地区		100%		
	渡場床固上流	河道掘削	阿賀野市	③笹堀地区 小松地区		100%		
		堤防整備	五泉市 阿賀野市 五泉市	④萩野島地区 ⑤渡場地区 小松地区 馬下地区	100%		100%	
	支川合流点処理	支川合流点処理	阿賀野市	⑥草水地区	100%	100%		
		水衝部対策	新潟市 新潟市 新潟市	⑦蔵岡地区 ⑧松浜地区 ⑨中新田地区	100%	100%	100%	
	全川	浸透対策		阿賀野市	⑩千唐仁地区	100%		
				阿賀野市	⑪嘉瀬島地区		100%	
				阿賀野市	⑫分田地区		100%	
				新潟市	⑬福永地区		100%	
			五泉市	⑭馬下地区	R3	100%		
			阿賀野市	⑮笹堀地区		100%		
			新潟市	⑯高山地区		100%		
			五泉市	⑰羽下地区		100%		
			五泉市	⑱三本木地区		100%		
			新潟市	⑲小杉地区		100%	100%	
	新潟市	⑳横越地区			100%			
	阿賀野市	㉑新保地区			100%			
	新潟市	㉒金屋地区			100%			
	阿賀野市	㉓深堀地区			100%			

阿賀野川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

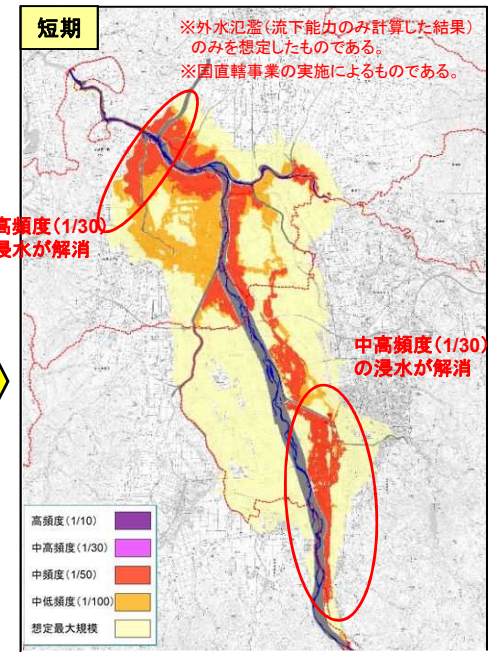
～会津から越後まで流域一体となった被害軽減に向けた治水対策の推進～

阿賀川では、下流狭窄部（長井地区）及び上流部（三本松）の河道掘削完了に伴い、戦後最大規模の洪水に対し阿賀川全区間をHWL以下で流下させることが可能

短期整備（5か年加速化対策）効果：河川（量的）整備率 約97.1%→約100% （※整備計画目標流量に対する整備率）



注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。
注：堤防の質的（浸透や侵食・洗堀などの対策）な評価を実施中であり、評価後に多段階浸水想定区域図を修正し、更新する予定である。



注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。
注：堤防の質的（浸透や侵食・洗堀などの対策）な評価を実施中であり、評価後に多段階浸水想定区域図を修正し、更新する予定である。

区分	本支川	対策内容	市町村	地区名	R3 工程		
					短期 (R3～R7)	中期 (R8～R17)	長期 (R8～R17)
氾濫を軽減するための対策	阿賀川	河道掘削	喜多方市	①長井地区	100%		
		河道掘削	会津若松市 会津美里町	②三本松地区	100%		
	日橋川	浸透対策	喜多方市	③遠田地区（下遠田）	100%		
		浸透対策	湯川村	④浜崎地区（湊）		100%	
	阿賀川	水衝部対策	会津若松市 喜多方市 会津坂下町 会津美里町 湯川村	⑤管内			100%

短期は流下能力が不足する箇所対策を優先し、中期以降は堤防の浸透に対する安全性の確保、河岸侵食等による危険箇所の対策を実施する。

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

※ 量的整備とは、洪水時に河川の水を安全に流すため、堤防の嵩上げや河床を掘削するなどの整備である。

阿賀野川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～会津から越後まで流域一体となった被害軽減に向けた治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



流出抑制対策の実施



山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の 25箇所

（令和4年度完成分）
※施工中 10施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定 18河川

区域 10町村
（令和4年9月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保 1693施設

個別避難計画 10町村
（令和4年1月1日時点）

数値の更新作業中（令和4年度中に更新版を公表予定）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■洪水氾濫対策

・羽越本線洪水防止連携整備事業
（阿賀野川河川事務所）



事業後 事業前

鉄道橋と堤防との交差点において計画
上の堤防高さが不足し、堤防から越流
する危険性が最も高い箇所となっている
ため、危険箇所の解消に向けJR東日本
と連携して整備事業を実施。

・排水樋管における無動力化改修
工事（阿賀野川河川事務所）

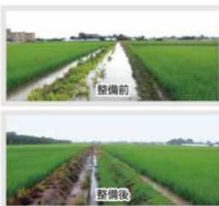


施工例

操作員の負担不足の解消や
異常洪水時における操作員の
安全確保、負担軽減を目的に、
樋管ゲートの無動力化（フラップ
ゲート化）を推進。

■流域の雨水貯留機能の向上

・田んぼダムの取組面積の拡大と適切
な管理の実施（新潟市）



貯留量を増やすため、田んぼから雨水
流出量を減らすための調節板と田んぼ
の畔の整備を実施。また、関係部局、
農地関係者が連携し取組面積の拡大
に向けた普及・啓発と整備済みの田ん
ぼダムの適切な管理を行う。

・公共施設における雨水貯留・
浸透施設の整備（会津若松市）

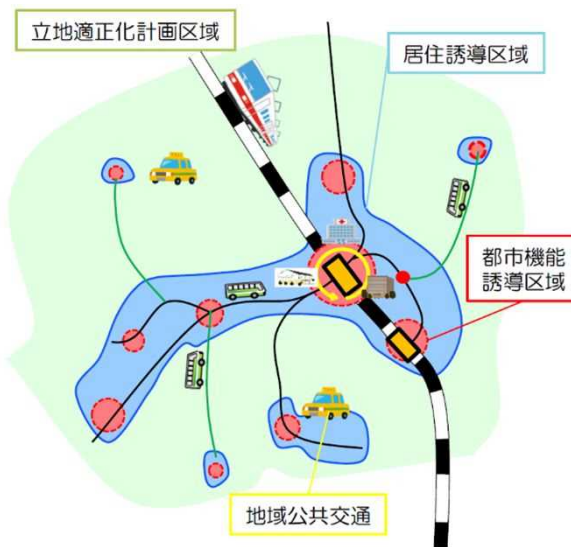


庁舎、公民館、市営住宅等の公
共施設を新設する場合、雨水貯
留施設などの整備を行う。

被害対象を減少させるための対策

■立地適正化計画の検討等

・立地適正化計画の策定及び見直し等検討
（会津若松市・新潟市・阿賀野市・五泉市）



気候変動の影響により頻発・激甚化する自然災害に対し、災害
ハザード情報と都市情報を重ね合わせるなどきめ細やかな災害
リスクの分析・都市防災上の課題を抽出を行い、災害に強いまち
づくりに向け方策の検討を行う。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

■防災意識の醸成・向上

・要配慮者利用施設や大規模工場等
の自衛水防の推進（新潟県）



施設管理者を対象として、避難確保
計画の作成方法を身につけてもらう
ための講習会を開催。

・防災リーダー養成講座の開催
（五泉市）



災害時に地域のためにリーダーと
して活躍する人材を育成するため、
町内会や自主防災組織等の代表
者を対象に「五泉市防災リーダー
養成講座」を開催。

■避難体制等の強化等

・「まるごとまちごとハザードマップ」
活動にて浸水深の揭示による防災
啓発（阿賀野市）



氾濫した場合に想定される浸水深
（最大浸水深）を記載した看板を電
柱に取付・掲示を実施。

・避難時に浸水が生じるケースを
想定した垂直避難訓練の実施
（会津若松市）

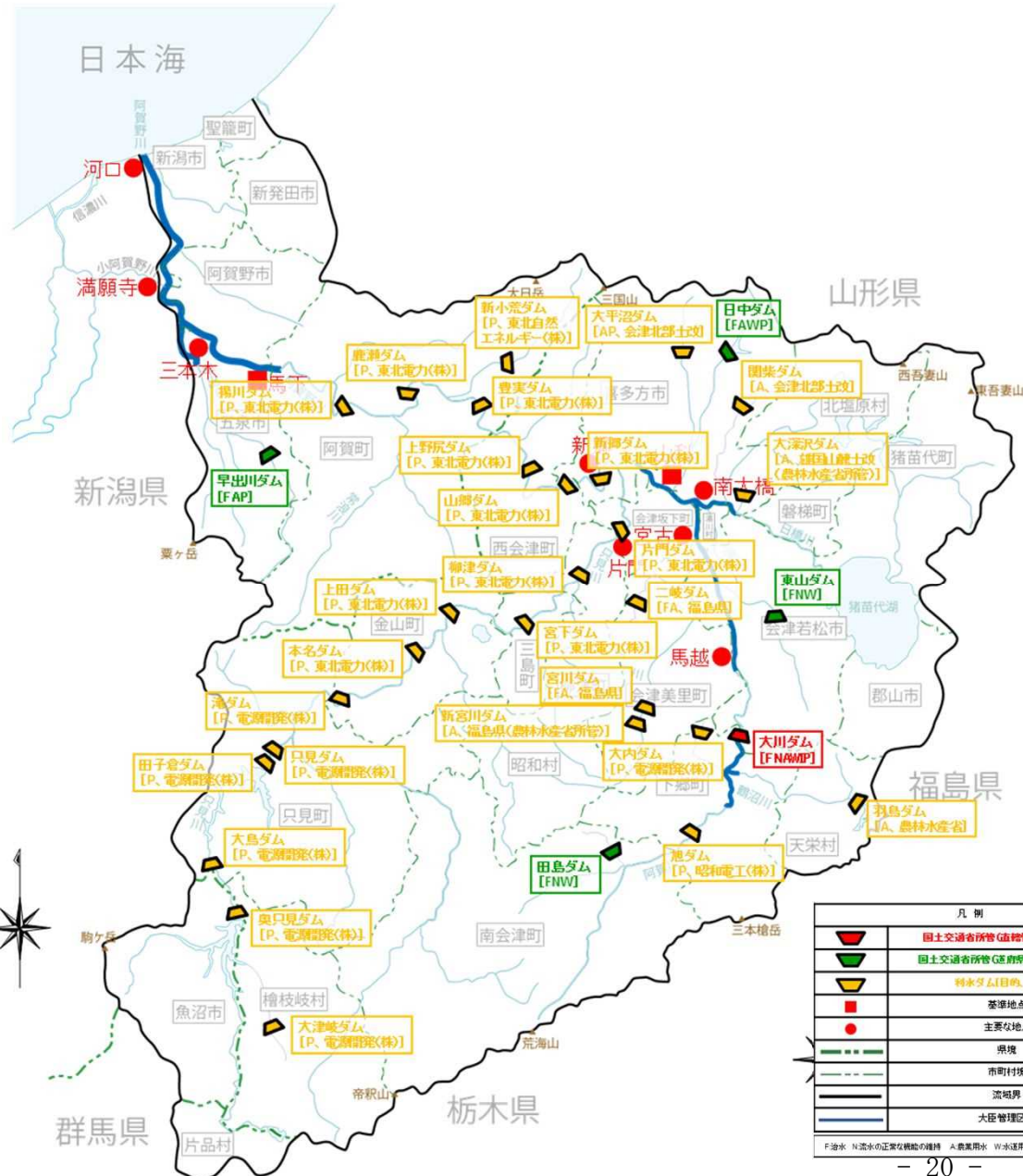


水害時における適切な避難行動の
大切さを周知・啓発することを目的
に、沿川の小学校を対象に垂直避
難訓練を実施。

阿賀野川水系流域治水プロジェクト【参考資料】

～会津から越後まで流域一体となった被害軽減に向けた治水対策の推進～

■既存ダム等32ダムにおける事前放流等の実施、体制構築



[関係者一覧]

○ダム管理者

- ・国土交通省北陸地方整備局阿賀川河川事務所(大川)
- ・農林水産省東北農政局阿武隈土地改良調査管理事務所(羽鳥、新宮川、大深沢)
- ・福島県(日中、東山、田島)
- ・新潟県(早出川)
- ・昭和電工(株)(旭)
- ・東北電力(株)
 - (本名、新郷、宮下、柳津、揚川、片門、上田、豊実、上野尻、鹿瀬、山郷)
- ・東北自然エネルギー(株)(新小荒、日中)
- ・電源開発(株)
 - (奥只見、田子倉、大内、滝、大鳥、只見、大津岐)
- ・会津北部土地改良区(大平沼、関柴)

○関係利水者

- ・農林水産省東北農政局
 - (羽鳥、新宮川、大深沢、日中、大平沼、関柴、大川)
- ・農林水産省北陸農政局(早出川)
- ・福島県(宮川、二岐)
- ・新潟県(早出川)
- ・会津若松市(東山)
- ・喜多方市(日中)
- ・南会津町長(田島)
- ・会津若松地方広域市町村圏整備組合(大川)
- ・東北電力(株)(大川)
- ・東北自然エネルギー(株)(新小荒、日中)
- ・電源開発(株)
 - (奥只見、田子倉、大内、滝、大鳥、只見、大津岐)

○水害対策に使える容量(32ダム)

締結前5.8% 締結後49.9%
(約46,300万m³の増加)

凡例	
	国土交通省所管(治水管理)ダム目的
	国土交通省所管(総合管理)ダム目的
	特殊ダム目的(管理種別)
	基準地点
	主要な地点
	県境
	市町村境
	流域界
	大匠管理区画

F:治水 N:洪水の正源(機能の維持) A:農業用水 W:生活用水 I:工業用水 P:発電